

## 社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月15日

計画の名称	下水道の防災・減災対策重点計画（防災・安全）											
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）											
交付対象	袋井市											
計画の目標	計画的に防災対策・減災対策等を実施し、安心・安全なまちを実現する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,371	A	1,371	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
					(2019年度当初)	(2021年度末)	(2023年度末)
1	終末処理場の機能確保率を0%から100%に向上させる。 終末処理場の機能確保率 機能確保済みの施設数 / 機能確保すべき施設数（総合地震対策計画（H30策定）の機能確保すべき施設数）*100		0%	50%	100%		
2	袋井駅周辺地区における浸水対策計画の策定率を11.3%から76.7%に向上させる。 袋井駅周辺地区的浸水対策計画の策定率 (浸水対策計画策定面積 / 袋井駅周辺地区面積) *100		11%	77%	77%		

備考等	個別施設計画を含む	<input type="checkbox"/>	国土強靭化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	- 連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	- 流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	- 地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	--------------------------	----------	--------------------------	----------	--------------------------	--------------	--------------------------	--------------	--------------------------	-------------	--------------------------

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果											H31	R02	R03	R04	R05		
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	袋井市	直接	袋井市	終末処理場	改築	終末処理場耐震化事業（ 袋井浄化センター）	耐震補強事業（流入渠、沈砂池・ポンプ棟、汚泥処理棟等 ）	袋井市						665		策定済
		下水道総合地震対策計画																	
	A07-002	下水道	一般	袋井市	直接	袋井市	管渠（ 雨水）	-	雨水計画の見直し	浸水シミュレーションによる 浸水リスク評価に基づく検証 ・計画の見直し	袋井市						36		-
	A07-003	下水道	一般	袋井市	直接	袋井市	終末処理場	-	処理場耐水化計画策定	処理場（2か所）の浸水に対 する調査及び耐水化計画策定	袋井市						16		-
	A07-004	下水道	一般	袋井市	直接	袋井市	終末処理場	新設	非常用電源整備	自家発電機新設	袋井市						340		-
	A07-005	下水道	一般	袋井市	直接	袋井市	ポンプ場	新設	雨水ポンプ場整備	雨水計画の見直しに伴う雨水 ポンプ場の測量・設計等	袋井市						314		-
											小計						1,371		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況
		一體的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
												合計					1,371		

## 事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証し、その結果を踏まえて下水道部局により評価した。
事後評価の実施時期	令和7年10月
事業効果の発現状況	
定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	総合地震対策計画に基づき処理場の改築を進め、3施設の耐震補強工事をおこない耐震性能を確保した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	機能確保済みの施設数 / 機能確保すべき施設数（総合地震対策計画）*100		事業費不足および入札不調・不落により1施設分の耐震補強工事ができなかつたため、目標値100%に達しなかつた。
	最終目標値 100%		
2	浸水対策計画策定面積 / 袋井駅周辺地区面積 * 100		
	最終目標値 77%		